

教育
局長 暗に警告を發す

嵐の前聖州(一)

學校國家管理法案に對し

坂元靖氏

今年度通譯協定期総会は去る十一月日本クラブにおいて多國會議員、監査委員、副會長、會計理事の出席で、役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

くへ越海人邦在誠熱

通譯協會

新會長

坂

元

靖

氏

理

事

柏木

良二

古川虎之助

北村政吉

平山惣次郎

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監査

同

正

役員改選、昨年度算額計をすまして終了した。因みに今年度役員氏名は左記の通りである。

坂根總領事

昨日出聖

さる四日

に旅程

を發表して角田

監

病後・産後の衰弱に カリフラワー

錠剤及液剤各地有名
薬店又は日本人商店
に販賣す

「それはいつもの藏人をお用
ひなさいまし」
「いやそれも言つてやつたが、却
つてシッピ返しを喰ひ、他の方がが
が来面した、今年は他の方が御藏
が勝つて頭がキリする。事に及
ぶかも知れん」
「平馬は吃驚して。
「それは大變、それでは、私がお
金を持つて國部様へお詫びに参り
ませうか」
「待て、それには及ばぬ」と止めたと云ふが、これは藏人

居たすよりは五年早く世を逝
くと想ふ、大助に於ても上の御

用は今は僕よりも良く勤まると思

ふ、依つて隱居及び家督相繼ひ

頭髪を切り下げに致し泰和院と名

改め、悠々自適の身となられた

は略定してゐるものであつて地

きである、勿論風向とは直角の方

向であることを要する、次に風即

ち氣流が國物例へば防風林等

期の初めに新屋から竹を切つて來

て葉も枝も落さずそと其堅理

りをしてる。そこで家の茶を學

ぶ自分も亦隠居をして、相談

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な

三郎兵衛と云ふ奴は種々といれ智

慧をしたのであるが、

分コツ醜く思つたが、所謂鷹に釣

三郎兵衛はぬいと入れ智

平馬は頬を膨らして、

吉良上野介は用人船谷平馬から

隠居美濃守を勤めて賄賂の督配を

するやうにと報告されて、

「いや其方の中すまでも、隠

居の世話を勤めてゐるは忠義な